

## 朝鮮民主主義人民共和国の水爆実験に対する抗議声明

1月6日、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は朝鮮中央テレビを通じ「特別重大報道」という臨時ニュースの中で、日本時間10時30分、はじめて水爆実験を行い、「完全に成功した」と伝えた。北朝鮮の核実験は、2006年、2009年、2013年に続き4度目となる。

J R 東海労は、いかなる理由があろうとも、北朝鮮の核実験に対し、満腔の怒りをもって抗議する。

北朝鮮は核実験の理由を「アメリカは敵対勢力とともに、わが国に経済制裁を行っている」「水爆を保有することは主権国家の合法的で自衛的な権利であり誰も侵害できない」と正当化し、「核抑止力を質的、量的に絶えず強化していく」ことを明らかにした。そして、北朝鮮は5月の党大会の前に戦略兵器の戦力向上を誇示し、内外に国威を発揚することを狙っているとされる。

「抑止力」で戦争が回避できたとか、軍縮が実現できたことは、歴史上一度もない。「抑止力」とは「軍拡」を意味するものであり、これを許すならば、各国が「抑止力」を口実に軍事政策強化へと突き進むであろう。

今や、世界が軍縮や脱原発に向けてさまざまな取り組みを行っている時代である。まして、すべての国の核兵器早期廃絶は、喫緊の課題とされている。ヒロシマ・ナガサキ・第五福竜丸、そして福島第一原発事故を目の当たりにした私たちは、「放射能の脅威」を思う存分知らされている。何度も言う、人間と核は共存できないのである。

J R 東海労は、北朝鮮に核軍拡政策の中止を求めると共に、すべての国の核兵器廃絶、反原発、あらゆる戦争政策に反対して闘っていく。

2016年1月9日

J R 東海労働組合中央本部